

新	旧	備考欄
給水装置工事設計施工基準 令和 7 年 1 0 月 大 崎 市 上 下 水 道 部	給水装置工事設計施工基準 令和 5 年 1 0 月 大 崎 市 上 下 水 道 部	正誤表の記載内容 日 付…日付の訂正 追 記…改正に基づき追加記載 表記訂正…記載誤りを訂正 表記修正…記載事項を修正 削 除…改正に伴い削除 追 加…改正に伴い記載内容を追加した 削除・追記…記載内容を削除し、誤った記載を訂正 (日 付)

新	旧	備考欄																																
給 水 装 置 工 事 設 計 施 工 基 準 3 分 岐 か ら メ ー タ ー ま で 3.3 給 水 管 の 分 岐 ・ 分 岐 止 め 3.3.5 分岐の方法 (1) 分岐は、被分岐管の管種により「管種別分岐表」(表10)に基づき以下により施工すること。 (2) 割T字管、弁付き割T字管及びチーズは、水平方向分岐を基本とする。 (3) サドル付分水栓のせん孔は、上せん孔、水平方向分岐とする。 (4) 被分岐管がDIPで口径20mm～50mmのせん孔には、防錆コアを装着する。 (5) サドル付分水栓及び割りT字管の給水の取付けは、ボルトの締め付けが片締めにならないよう平均して締め付け、管種ごとにきめられたトルクで締め付けること。 3.4.2 仕切弁・止水栓の種類及び使用範囲 仕切弁・止水栓の種類及び使用範囲は、表11のとおりとする。 表11 仕切弁・止水栓の種類及び使用範囲 <table><tr><th>種 類</th><th>口 径</th><th>使用場所</th></tr><tr><td>水道用ソフトシール仕切弁</td><td>50mm以上</td><td>道路・宅地</td></tr><tr><td>乙止水栓</td><td>20mm～50mm</td><td>宅地</td></tr><tr><td>逆止弁付止水栓（スイング式）</td><td>13mm～50mm</td><td>メーター前</td></tr><tr><td rowspan="2">メーターユニット</td><td rowspan="2">13mm～20mm</td><td>アパート・借家</td></tr><tr><td>中高層建物</td></tr></table> ※道路上において、水道用ソフトシール仕切弁・乙止水栓の使い分けについては管理者と協議するものとする。 3.7 保 護 ・ 保 温 工 事 埋設管の腐食，露出配管の腐食，凍結防止のため保護・保温工事をする。 3.7.1 保護工 (8) 管を道路に配管する場合は、次の要領により「管の明示」を行う。 ④ 明示の方法 (a) 明示シート胴巻きテープは、当年度（西暦表示）のものとする。 (b) 胴巻きテープは、1回半巻きとする。	種 類	口 径	使用場所	水道用ソフトシール仕切弁	50mm以上	道路・宅地	乙止水栓	20mm～50mm	宅地	逆止弁付止水栓（スイング式）	13mm～50mm	メーター前	メーターユニット	13mm～20mm	アパート・借家	中高層建物	給 水 装 置 工 事 設 計 施 工 基 準 3 分 岐 か ら メ ー タ ー ま で 3.3 給 水 管 の 分 岐 ・ 分 岐 止 め 3.3.5 分岐の方法 (1) 分岐は、被分岐管の管種により「管種別分岐表」(表10)に基づき以下により施工すること。 (2) 割T字管、弁付き割T字管及びチーズは、水平方向分岐を基本とする。 (3) サドル付分水栓のせん孔は、上せん孔、水平方向分岐とする。 (4) 被分岐管がDIPで口径20mm～50mmのせん孔には、防錆コアを装着する。 (5) サドル付分水栓及び割りT字管の給水の取付けは、ボルトの締め付けが型締めにならないよう平均して締め付け、管種ごとにきめられたトルクで締め付けること。 3.4.2 仕切弁・止水栓の種類及び使用範囲 仕切弁・止水栓の種類及び使用範囲は、表11のとおりとする。 表11 仕切弁・止水栓の種類及び使用範囲 <table><tr><th>種 類</th><th>口 径</th><th>使用場所</th></tr><tr><td>水道用ソフトシール仕切弁</td><td>50mm以上</td><td>道路・宅地</td></tr><tr><td>乙止水栓</td><td>20mm～50mm未満</td><td>宅地</td></tr><tr><td>逆止弁付止水栓（スイング式）</td><td>13mm～50mm</td><td>メーター前</td></tr><tr><td rowspan="2">メーターユニット</td><td rowspan="2">13mm～20mm</td><td>アパート・借家</td></tr><tr><td>中高層建物</td></tr></table> 3.7 保 護 ・ 保 温 工 事 埋設管の腐食，露出配管の腐食，凍結防止のため保護・保温工事をする。 3.7.1 保護工 (8) 管を道路に配管する場合は、次の要領により「管の明示」を行う。 ④ 明示の方法 (a) 明示シート胴巻きテープは、当年度（西暦表示）のものとする。 (b) 埋設管の管頂部には、全延長に天端テープ（胴巻きテープ）を貼りつける。 (c) 胴巻きテープは、1回半巻きとする。	種 類	口 径	使用場所	水道用ソフトシール仕切弁	50mm以上	道路・宅地	乙止水栓	20mm～50mm未満	宅地	逆止弁付止水栓（スイング式）	13mm～50mm	メーター前	メーターユニット	13mm～20mm	アパート・借家	中高層建物	P.14 (表記訂正) P.16 (削除・追記) P.21 (削 除)
種 類	口 径	使用場所																																
水道用ソフトシール仕切弁	50mm以上	道路・宅地																																
乙止水栓	20mm～50mm	宅地																																
逆止弁付止水栓（スイング式）	13mm～50mm	メーター前																																
メーターユニット	13mm～20mm	アパート・借家																																
		中高層建物																																
種 類	口 径	使用場所																																
水道用ソフトシール仕切弁	50mm以上	道路・宅地																																
乙止水栓	20mm～50mm未満	宅地																																
逆止弁付止水栓（スイング式）	13mm～50mm	メーター前																																
メーターユニット	13mm～20mm	アパート・借家																																
		中高層建物																																

新	旧	備考欄
<u>4 地 域 的 特 性</u> 4. 6 非 常 用 水 栓 受水槽式給水の給水方式で、災害時及び停電等、不測の事故等の場合にも給水の確保が出来るようメーター下流側に外部水栓1個を設置する。 4. 6. 1 使用する非常用水栓の種類 キー付き不凍給水栓を使用する。 <u>7 手 続 き 方 法</u> 7. 2. 4 工事写真 工事写真は、以下の項目に注意し撮影し、竣工図に添付し提出する。 (1) 写真撮影の際、被写体の寸法、深度等が判断できるようにスライドロッド又はリボンロッド等を使用し、撮影する。 (2) 撮影箇所の説明を明記すること。 (3) 工事写真は下記内容を撮影することを基本とする。 ・ 圧着補修状況 ・ 既設管と新設管の接続箇所（ソケット使用の場合は防食テープ布設前後） ・ ボール式乙型止水栓・逆止弁付止水栓・メーターユニット設置状況 ・ メーター廻り配管 ・ 埋設深（全景及び近景）スケール等を使用し撮影 ・ 分岐状況（防食テープ布設前後） ・ 水抜き栓設置状況 ・ 管種口径変更箇所 ・ 床下配管状況 ・ ヘッダー廻り配管状況 ・ 屋内内部配管状況 ・ 器具取付状況 ・ 水圧テスト状況（全景・近景） ・ その他（管理者が必要と思われるもの）	<u>4 地 域 的 特 性</u> 4. 6 非 常 用 水 栓 受水槽式給水の給水方式で、災害時及び停電等、不測の事故等の場合にも給水の確保が出来るようメーター下流側に外部水栓1個を設置する。 4. 6. 1 使用する非常用水栓の種類 キー付き不凍給水栓（吸気弁内蔵）を使用する。 <u>7 手 続 き 方 法</u> 7. 2. 4 工事写真 工事写真は、以下の項目に注意し撮影し、竣工図に添付し提出する。 (1) 写真撮影の際、被写体の寸法、深度等が判断できるようにスライドロッド又はリボンロッド等を使用し、撮影する。 (2) 撮影箇所の説明を明記すること。 (3) 工事写真は下記内容を撮影することを基本とする。 ・ 圧着補修状況 ・ 既設管と新設管の接続箇所（ソケット使用の場合は防食テープ布設前後） ・ ボール式乙型止水栓・<u>K R バルブ</u>・メーターユニット設置状況 ・ メーター廻り配管 ・ 埋設深（全景及び近景）スケール等を使用し撮影 ・ 分岐状況（防食テープ布設前後） ・ 水抜き栓設置状況 ・ 管種口径変更箇所 ・ 床下配管状況 ・ ヘッダー廻り配管状況 ・ 屋内内部配管状況 ・ 器具取付状況 ・ 水圧テスト状況（全景・近景） ・ その他（管理者が必要と思われるもの）	P. 25 (削 除) P. 37 (表記訂正)

新	旧	備考欄
7. 3 道 路 等 占 用 使 用 許 可 申 請 の 手 続 き	7. 3 道 路 等 占 用 使 用 許 可 申 請 の 手 続 き	P. 38 (表記訂正)
7. 3. 2 工事写真 工事写真を次の項目により撮影し，給水管埋設工事写真集に整理する。 舗装路の場合(1)～(22)，未舗装路の場合(1)～(2)，(5)～(13)，(17)，(21)～(22)までの当該写真を提出する。 (1) 着工前（三方向） (2) 竣工後（三方向） (3) カッター工（舗装切断） (4) 舗装取壊し状況，現況舗装厚さの状況 (5) 掘削状況 (6) 積込状況（舗装・残土） (7) 配管土被り（スケールを当てる） (8) 取出し管分岐状況（分岐止め状況） (9) 水締め状況 (10) 砂埋戻し転圧完了状況：（各層毎，出来形管理：スケールを当てる） (11) 識別マーカ－設置状況 (12) 埋設管表示シート埋設状況 (13) 碎石埋戻し転圧完了状況：（各層毎，出来形管理：スケールを当てる） (14) 合材敷し均し，転圧状況 (15) 仮復旧転圧完了状況：（出来形管理，スケールを当てる） (16) 影響範囲切断状況：（状況確認，スケールを当てる），舗装版取壊し状況，不陸整正状況 (17) 路盤転圧状況，路盤下がり測定 (18) 乳剤（プライム・タックコート）散布状況，乳剤散布完了 (19) 合材敷し均し，転圧状況 (20) 本復旧完了状況 ：（出来形管理，スケールを当てる） (21) 保安設置状況 (22) その他，「道路管理者」の指示事項による。（※区画線施行状況等）	7. 3. 2 工事写真 工事写真を次の項目により撮影し，給水管埋設工事写真集に整理する。 舗装路の場合(1)～(19)，未舗装路の場合(1)～(19)までの当該写真を提出する。 (1) 着工前（三方向） (2) 竣工後（三方向） (3) カッター工（舗装切断） (4) 舗装取壊し状況，現況舗装厚さの状況 (5) 掘削状況 (6) 積込状況（舗装・残土） (7) 配管土被り（スケールを当てる） (8) 取出し管分岐状況（分岐止め状況） (9) 水締め状況 (10) 砂埋戻し転圧完了状況：（各層毎，出来形管理：スケールを当てる） (11) 識別マーカ－設置状況 (12) 埋設管表示シート埋設状況 (13) 碎石埋戻し転圧完了状況：（各層毎，出来形管理：スケールを当てる） (14) 合材敷し均し，転圧状況 (15) 仮復旧転圧完了状況：（出来形管理，スケールを当てる） (16) 影響範囲切断状況：（状況確認，スケールを当てる），舗装版取壊し状況，不陸整正状況 (17) 路盤転圧状況，路盤下がり測定 (18) 乳剤（プライム・タックコート）散布状況，乳剤散布完了 (19) 合材敷し均し，転圧状況 (20) 本復旧完了状況 ：（出来形管理，スケールを当てる） (21) 保安設置状況 (22) その他，「道路管理者」の指示事項による。（※区画線施行状況等）	